

第2施設大隊 令和4年度 一般陸曹候補生課程後期及び 新隊員特技課程教育 令和4年7月1日(金)～9月22日(木)

第2施設大隊は、施設職種の基礎となる「基礎作業」、「爆破」、「漕舟」等、様々な教育を行いました。教官は、第1中隊 堀井曹長です。

新隊員達は猛暑の中、暑さに負けず訓練に取り組み、この3ヶ月で施設科隊員として大きく成長しました。

教官に後期教育について聞くと、「厳しくするところは厳しくしていますが、熱意と愛情をもってやれば若い隊員にも響くし、注意されても意味が分かればふてくされるような隊員はいません。教官として、週末も新隊員がどうしたら成長できるか考えて、子どもの事より悩むけど、やっぱり上手にできたら嬉しいですね。距離感も大切で、仲良しこよしは優しさじゃないと思うので、ダメなことはダメだと言うように助教要員一同、気をつけています。今年の新隊員は陸曹を目指している隊員ばかりなので、第1陸曹教育隊にいた経験から、陸曹に導くことを目標に日頃から指導をしています。教育を受ける新隊員も熱心にメモを取り、歯を食いしばって、ついてきてくれています。新隊員は男女関係なく仲が良く、和気あいあいとやっています。女性自衛官も頑張っていて、日々の訓練場への駆け足移動を体力練成の場としてとらえ、今では男性隊員と肩を並べるくらい体力がついてきています。」と話してくれました。

「新隊員としてはいいけど、部隊にあって少しでも戦力になってほしいから。」と、教育時間をやりくりしながら天幕展張やストーブの使用法、タイヤチェーン取付要領等々、中隊配属後に必要なことにも取り組んでいました。

取材していて感じたのは、とにかく教官、助教要員達の後期教育に対する熱い姿勢でした。それが新隊員達にきちんと伝わり、とても充実した教育だったことは明らかでした。

(熱中症予防のため、一部でマスクを外して訓練しています。)



教育修了前に記念撮影 この雰囲気からも強い絆を感じます！



担当した教官・助教要員



駐屯地内の池で渡河訓練「よーそろー、前へ！」





運搬 肩で担いで重たい丸太を運びます。2人で息を合わせて1、2！1、2！



もちろん女性自衛官も同じ訓練です。途中で「肩を変え」

班長の指導事項をきちんとメモ



連結 鉄線結びや十字結びを使い木材と木材を連結していきます。これで高所作業もできるようになります。



訓練に真剣に取り組む姿は力強い限りです！
入隊してから半年で、すっかり自衛官の顔つきです！

ラグビーで鍛えられた小田切 2 士



植杭 打ち方にも色々な種類があります。固定打ち、挿み打ち・振り打ち等 木にささくれないか確認



天幕のたてかたやストーブの扱い方についての教育。みんな真剣に聞いています。



←女性自衛官班付と班員
明るい雰囲気伝わります。
(屋外であり発声せずに撮影)

休憩中の一コマ →
同じ教育隊で出会い
とっても仲良しに！
自衛隊は出会いが
いっぱいです☆



増田 2 士に施設の教育は大変ですか？と聞くと「いいえ、楽しいです。教官も助教も良い方ばかりなので！」と元気に答えてくれました。神奈川県出身ですが旭川を希望。ご家族は心配していませんか？と聞くと「ちょちょこ電話がきます。」と教えてくれました。



山本裕人 2 士に後期教育で大変だったことを聞くと「爆破訓練です。凄い迫力でした。」と教えてくれました。香川県出身ですが第 2 施設大隊を希望。部隊の規模が大きいと聞き、自分を成長させるために希望しました。」と明るく話してくれました。



杭打ちが得意な峯松 2 士は広島県出身 入隊のきっかけを質問すると「小さい頃から平和の大切さを思いながらも、特に平和を気にすることなく暮らしてきました。自衛官は平和を守るのが仕事なので貢献したくて入隊しました。」地元を離れて不安はないかを聞くと「ずっと地元に行ったら親のありがたみが分からない。離れてみて、感謝の気持ちがわいています。親も入隊に賛成してくれました。」と話してくれました。運動も好きで、バスケットボール、ソフトテニス、新体操、剣道、駅伝など色々やってきたそうです。広島県と違うところは「食事の味付けや日の出・日の入りの時間。あと寒暖差！」と明るく話してくれました。杭打ちする姿は上手すぎて、ベテラン職人のようでした！